



オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu/>



2024年
3月号
2024. 3.16 発行
第261号

あたらしい仲間を紹介します



チュオン ドウック チュン
ベトナム



徐 夢
中国



あたらしいスタッフ



ディン チャン 2月10日入会

ベトナムから来ました。ピアノの教師をしています。オリーブで各国から来る日本語を習いたい生徒さんに会える機会があるのが嬉しいです。どうぞよろしくお願い致します。

中川先生のへんてこ日本語

161

わざと来てくださったのですか



中国の大学で学会があった際、知り合いの先生が口頭発表するというので、会場へ出向いた。すると、「わざと来てくださったのですか。ありがとうございます。」と言われ、一瞬ムカッとしたが、これは「わざわざ来てくださったのですか」のことだろうと思ひ、気を取り直した。中国でも有名な日本語の先生で、日本の大学で博士の学位まで取っている人でも、覚え間違いがあったようである。

同じような問題で、「たまたま出かけます」というのを聞いた。これも、「たまたま出かけます」のことだろう。

この二つ(わざわざ、たまたま)は、オノマトペではなく副詞であるが、擬音語・擬態語同様の扱いをしてみましたところに間違いの原因がある。

ドキドキする／ドキとする、フラフラする／フラッと立ち寄る、グルグル回る／グルッと一周する、バラバラになる／バラつくなどの「AA型」擬態語は、2語であっても、1語であっても、意味に大きな差はない。

しかし副詞となると、「わざわざ」と「わざと」は別の意味を持つことになる。

最近、「めっちゃ〜」「超〜」「す〜い〜」などの新しい程度副詞が、「たまに」ではなく頻繁に使われるが、「わざと」使っているわけでもなく、日常化してしまっただけだろう。

オノマトペを習得したいと望む学習者は多い。確かに会話場面などでは、「激しい雨が降っている」より「ザーザーと雨が降っている」の方が、雨の降っている様子がうまく伝わる。これは「わざと」オノマトペを使って効果を上げている例であるが、「朝ガーと起きて、ガッガーと朝ごはんを食べて…」などは、「わざわざ」オノマトペを使うには及ばない。いずれにしろ副詞の使い方は、「す〜い〜」難しい。

京都外国語大学日本語学科教授 中川良雄

オリーブ新年会

知ってほしい わたしの国 食べてほしいおいしい料理

2月3日土曜日、この時期の恒例イベント「オリーブ新年会」は、新型コロナ感染も落ち着いたので、久しぶりに飲食をとまなうパーティを催行。活動場所がキラリエ草津に移ってから部屋では飲食禁止といわれていたのですが、がんばって関係各所をお願いした結果、キッチンで作った料理は部屋で食べてよらしいということになり、めでたく以前通りのパーティができたのでした。



12月、オリーブで勉強しているみなさんに国別チームを作ってもらいました。できたチームは、ブラジル、ベトナム、中国、スーダン、ミャンマー、フィリピン、インドネシア、ウクライナの8か国。その後、何度かの話し合いの時間を設け、当日作る料理と発表内容を決めてもらいました。

さて、当日はキッチンで料理を作るチーム、ある程度家で作ってきて最後の仕上げをするチームもいて、キッチンは早い時間からおもしろそうなおいが立ち込めました。



キラリエくさつのいつもの教室は新年会に向けての準備も着々と進み、テーブルの上には、日本人スタッフ有志が作ってきてくれた日本料理も含めて、何種類もの料理がならんでとてもにぎやか。あれも食べたい、これも食べたいとさまよううちに、おなか一杯となり、たべそこねた料理も数知れず... そんな人も多かったのでは？



食事のあとは各国の発表タイム。映像を使っの国の紹介や、観光地や文化、食、民族など興味深い話がたくさん聞けました。歌やダンスもあって、母語で歌うのはとても楽しそうでした。発表の最後は日本の若者チームによる「節分」の紹介と豆まきでした。後片付けもバッチリ、ステキなパーティでした。



このまへのパーティはとてたのしかったです。たこくのたべものをたべたりきいたりできたのでたのしかったです。やっぱりじぶんでりょうりしたたべものがおいしかったかな？でもたこくのたべものもおいしかったです。ごちそうさまでした。ありがとうございました。またらいねんのパーティをたのしみにしています。

ジャーソン (フィリピン)



はじめて経験したが、大勢の前でよく発表はできました。緊張した気持ちになりましたけど自分でできると思って話して気持ちが落ち着きました。

テツ ウエイ ヤン (ミャンマー)



普段あまり食べる機会のない様々な国の料理を食べることができ、発表でもいろいろな国について知ることができました。とても貴重な体験でした。

折井夏帆 (日本)



先月の活動（2月）

日本語教室 2/10(M), 17 (2回)
 2/3(土) オリーブ新年会
 2/25(日) BNN 日本語スピーチ大会 (田中英、福井)



今月の活動予定（3月）

日本語教室 3/2(M), 9, 16, 23, 30 (5回)
 3/19(火) 第4回草津市外国人支援団体の集まり(恩地)
 3/31(日) オリーブお花見

- 日本語教室の(M)は定例ミーティング
- ()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



参加人数（2月）

	2/3	2/10	2/17
生徒	30	17	32
先生	33	18	30



会員の動き（2月）

〈入会〉ディン チャンさん
 〈休会〉なし
 〈退会〉なし
 〈賛助会員〉なし



お知らせ

Brian Williams Speech event 風景画家
 草津市国際交流協会KIFA主催
 ブライアン・ウィリアムズ氏 講演会

私の人生は国際交流

2023年来日50周年を迎えた風景画家のブライアンさんを講師にお迎えし、国際交流を切り口にこれまでの人生の軌跡を語っていただきます



日時：2024年4月13日（土）
 午前11時30分から（受付は11時15分～）

場所：草津市役所8階大会議室
 ※当日は、正面玄関からお入りください。閉庁日のため、他の入り口は閉まっています。

定員：50名（要申込）
 参加費：無料

風景画家ブライアン・ウィリアムズ氏

「光・空気・静寂」を表現する風景画家であるブライアンさんはペルー生まれのアメリカ人です。琵琶湖に魅せられ、大津市伊香立の農家を改装して暮らしています。四季の移ろいを感動の心で追い、また、荒らされていく自然を豊かに自然保護再生を訴えながら国内外を写生旅行し、数々の水彩画・油彩画・版画作品を発表しています。ブライアンさんが手掛ける曲面絵画は臨場感にあふれ、まるで本当の景色を見ているようです。2022年、来日50周年を記念して、滋賀県と琵琶湖への感謝の気持ちとして、滋賀県に大型曲面絵画「琵琶湖 四季彩」を300余名の賛同者とともに寄贈されました。

お問い合わせ
 草津市国際交流協会KIFA
 草津市草津3-13-30草津市役所2階
 ☎ 077-561-2322
 ✉ kifa-japan@coda.ocn.ne.jp



おもうしこみは
 こちら

くさつ桜まつり
 KUSATSU SAKURA MATSURI

2024
 3/30(土) 31(日)
 10:00-15:00
 入場無料 雨天中止

会場
 草津川跡地公園
 東海道・中山道エリア
 (くさつ夢本陣、クロスアベニュー、みんなのハナレ、マンボのとなりなど)

くさつ桜まつり 特設ページ
 イベントの詳細やお申込み方法などは特設ページをご覧ください！
 草津まち歩き新聞 検索
 www.kusatsu-machiaruki.com/topic/sakura-matsuri/

お問い合わせ 草津まちづくり株式会社
 ☎ 077-564-5888 (平日8:30-17:00)

編集後記：30周年記念事業の準備が始まりました。通常の授業に加えて、各担当チームのミーティングもじわじわと増えています。8月の記念パーティまで体がもつだろうかと不安も大いにもありますが、楽しみでもある。まあなんとかなるさ、なってほしい！（MO）

